



全共でJA種子屋久をアピール
農産物や加工品を販売

JA種子屋久は10月6日から10日の5日間、全国和牛能力共進会でJA種子屋久の農産物と加工品販売を行いました。

人気商品の冷凍焼き芋や落花生、女性部の調味料や手作りお菓子などを中心に販売。気温が低くなったこともあり、焼き芋を求める方が多く見られ、大盛況となりました。



でん粉原料用甘しよ集荷開始

JA管内で10月上旬、でん粉原料用甘しよの集荷が始まりました。管内では、「シロサツマ」「シロユタカ」「コナホマレ」「ダイチノユメ」「ミナミユタカ」「こないしん」の6品種を703畝で栽培。集荷見込み数量は約45万俵で、集荷は11月25日まで行われます。

一部圃場で台風14号や基腐病の被害が見られましたが、昨年並みの実績が見込まれています。



肥料価格高騰対策事業
各校区・各集落で手続き支援

JAは10月中旬、各校区又は各集落へ直接出向き、肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和に向けた「肥料価格高騰対策事業」(秋肥分)の説明と申請手続き支援を行いました。

現在、農家・組合員への早期支援金支払いに向けて対応を進めています。なお、春肥分の申請手続きについては、令和5年2月頃を予定しています。

組合員宅訪問活動における
意見・要望について(上半期)

JAでは、毎月、職員が正組合員の皆様のもとへ直接訪問する活動を行い、JA事業や農業に関する意見・要望を全役員で共有化し、今後の事業運営に反映しています。

◎肥料の高騰に対して、農協や町から補助はないのか。

▽現在、手続きを行っている国の「肥料価格高騰対策事業」の支援金控除対象とならないJA独自の対策を講じていくことで進めています。各市町の補助についてもそれぞれ各市町で対応を行なうこととなっております。

新型コロナウイルスの影響により、組合員の皆様との徹底した話し合いをする機会が少なくなっておりますが、感染拡大防止対策を講じながら、今後も活動を続けて参ります。

